

一般社団法人東急グループ慶太塾

2023年度事業報告

1. 事業の状況

当法人は当年度4月18日に、東京都渋谷区に設立され、当日は長野県小県郡青木村に所在する事業所・「東急グループ慶太塾」にて、開塾式を催した。同事業所は7月27日に竣工し、竣工式を8月2日に実施し、事業開始の体勢を整えた。

設立初年度である当年度は、『東急グループ各企業の役職員が「東急グループ慶太塾」に集い、時代を超えて慶太翁と同じ空気を吸い、同じ景色を見て語り合い、その創業者精神を自らの心に宿し、再び日々の経営・事業にあたるための場を提供する。』『五島慶太翁の事業哲学の原点を、身をもって体得する修行の場として、東急グループはもとより地域社会、国家に有為な人材の育成を図る。』ことを目的とし、事業を行った。研修は、東急アカデミーI L D P（1回）・東急電鉄株式会社の助役研修（3回）・株式会社東急グルメフロントのしぶそば店長研修（1回）の計5回が行われた。

また、開塾式や竣工式等の際には、地元殿戸地区の住民はもちろん、東急グループ各社の方々にも見学いただき、その数は3月末日現在250名を超えている。

2. 会議体の開催状況

下記のとおり社員総会を開催し、議決に加わることのできる会員全てから議案の内容に同意する旨の書面の提出を受けたので、法律および定款の規定に基づき、会議を開催することなく可決された。

開催年月日	回数・名称	出席者	議 題
2023/7/18 (決議省略)	第1回社員総会	個人会員3名	(決議事項) 1. 2023年度事業・収支計画の件 2. 法人正会員の勧誘の件 3. 2023年度会員の会費の件

開催年月日	回数・名称	出席者	議 題
2023/12/20 (報告省略)	第2回社員総会	個人会員3名 法人会員3名	(報告事項) 1. 長野県小県郡青木村所在の土地・建物の 寄付受入の件 2. 2023年度法人会員の入会状況の件 3. 2023年度運営の状況の件
2024/3/29 (報告・決議 省略)	第3回社員総会	個人会員3名 法人会員5名	(報告事項) 1. 2023年度運営の状況の件 (決議事項) 1. 2024年度事業計画の件 2. 2024年度予算の件

以 上

附属明細書

2023年度事業報告には、事業報告の内容を補足する重要な事項は特にないので、
「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属
明細書は作成しない。

2023年度決算

当年度の決算に関わる財務諸表の内容は、3～7ページに記載のとおりである。また、会計および業務の内容、ならびに財務諸表の内容については、8ページのとおり、監事から監査報告書を受領している。

貸借対照表

2024年3月31日 現在

科目	当年度
I. 資産の部	
1. 流動資産	
現金	9,399
普通預金	18,213,723
流動資産合計	18,223,122
2. 固定資産	
建物	211,793,874
構築物	46,080,273
什器備品	3,492,226
土地	11,626,408
固定資産合計	272,992,781
資 産 合 計	291,215,903
II. 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	439,568
未払法人税	141,000
流動負債合計	580,568
2. 固定負債	
固定負債合計	0
負 債 合 計	580,568
III. 正味財産の部	
1. 一般正味財産	290,635,335
正味財産合計	290,635,335
負債及び正味財産合計	291,215,903

正味財産増減計算書

2023年4月18日から2024年3月31日まで

(単位：円)

科目		当年度決算	当年度予算	増 減
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①受取会費	1	31,000,000	30,000,000	1,000,000
②事業収入	2	0	2,877,000	△ 2,877,000
社員研修事業収入	3	0	560,000	△ 560,000
交流会事業収入	4	0	2,317,000	△ 2,317,000
③雑収益	5	25,098	0	25,098
受取利息	6	98	0	98
雑収益	7	25,000	0	25,000
経常収益計	8	31,025,098	32,877,000	△ 1,851,902
(2) 経常費用				
①事業費	9	6,699,828	3,185,000	3,514,828
社員研修事業費	10	0	420,000	△ 420,000
見学事業費	11	0	560,000	△ 560,000
交流会事業費	12	0	2,205,000	△ 2,205,000
給料手当	13	60,000	0	60,000
通信運搬費	14	65,146	0	65,146
消耗品費	15	2,148,688	0	2,148,688
水道光熱費	17	381,950	0	381,950
保険料	18	300,728	0	300,728
租税公課	19	1,028,716	0	1,028,716
図書購入費	16	52,800	0	52,800
諸会費	20	55,520	0	55,520
委託費	21	2,599,000	0	2,599,000
支払手数料	22	7,280	0	7,280
②管理費	23	12,324,253	31,259,000	△ 18,934,747
給料手当	24	540,000	1,200,000	△ 660,000
旅費交通費	25	220,181	312,000	△ 91,819
通信運搬費	26	42,974	182,000	△ 139,026
減価償却費	27	9,191,944	12,645,000	△ 3,453,056
消耗品費	28	31,232	2,800,000	△ 2,768,768
水道光熱費	30	0	1,200,000	△ 1,200,000
租税公課	31	256,179	1,620,000	△ 1,363,821
図書購入費	32	13,200	10,000	3,200
渉外費	33	955,343	2,300,000	△ 1,344,657
諸会費	34	222,080	470,000	△ 247,920
委託費	35	844,000	8,280,000	△ 7,436,000
支払手数料	36	7,120	40,000	△ 32,880
雑費	37	0	200,000	△ 200,000
経常費用計	38	19,024,081	34,444,000	△ 15,419,919
当期経常増減額	39	12,001,017	△ 1,567,000	13,568,017
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産受増益	40	278,634,318	280,000,000	△ 1,365,682
経常外収益計	41	278,634,318	280,000,000	△ 1,365,682
(2) 経常外費用				
経常外費用計	42	0	0	0
当期経常外増減額	43	278,634,318	280,000,000	△ 1,365,682
他会計振替前当期一般正味財産増減額	44	290,635,335	278,433,000	12,202,335
他会計振替額	45	0	0	0
当期一般正味財産増減額	46	290,635,335	278,433,000	12,202,335
一般正味財産期首残高	47	0	0	
一般正味財産期末残高	48	290,635,335	278,433,000	12,202,335
III 正味財産期末残高	49	290,635,335	278,433,000	12,202,335

正味財産増減計算書内訳表
2023年4月18日から2024年3月31日まで

(単位：円)

科目		事業会計	法人会計	合計
I	一般正味財産増減の部			
1.	経常増減の部			
(1)	経常収益			
①	受取会費	1 0	31,000,000	31,000,000
②	雑収益	2 0	25,098	25,098
	受取利息	3 0	98	98
	雑収益	4 0	25,000	25,000
	経常収益計	5 0	31,025,098	31,025,098
(2)	経常費用			
①	事業費	6 6,699,828	0	6,699,828
	給料手当	7 60,000	0	60,000
	通信運搬費	8 65,146	0	65,146
	消耗品費	9 2,148,688	0	2,148,688
	水道光熱費	10 381,950	0	381,950
	保険料	11 300,728	0	300,728
	租税公課	12 1,028,716	0	1,028,716
	図書購入費	13 52,800	0	52,800
	諸会費	14 55,520	0	55,520
	委託費	15 2,599,000	0	2,599,000
	支払手数料	16 7,280	0	7,280
②	管理費	17 0	12,324,253	12,324,253
	給料手当	18 0	540,000	540,000
	旅費交通費	19 0	220,181	220,181
	通信運搬費	20 0	42,974	42,974
	減価償却費	21 0	9,191,944	9,191,944
	消耗品費	22 0	31,232	31,232
	租税公課	23 0	256,179	256,179
	図書購入費	24 0	13,200	13,200
	渉外費	25 0	955,343	955,343
	諸会費	26 0	222,080	222,080
	委託費	27 0	844,000	844,000
	支払手数料	28 0	7,120	7,120
	経常費用計	29 6,699,828	12,324,253	19,024,081
	当期経常増減額	30 △ 6,699,828	18,700,845	12,001,017
2.	経常外増減の部			
(1)	経常外収益			
	固定資産受増益	31 0	278,634,318	278,634,318
	経常外収益計	32 0	278,634,318	278,634,318
(2)	経常外費用			
	経常外費用計	33 0	0	0
	当期経常外増減額	34 0	278,634,318	278,634,318
	他会計振替前当期一般正味財産増減額	35 △ 6,699,828	297,335,163	290,635,335
	他会計振替額	36 0	0	0
	当期一般正味財産増減額	37 △ 6,699,828	297,335,163	290,635,335
	一般正味財産期首残高	38		0
	一般正味財産期末残高	39		290,635,335
III	正味財産期末残高	40		290,635,335

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

①固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定額法を採用している。

但し、工具器具及び備品については定率法を採用し、一括償却資産については3年間の均等償却を採用している。

②消費税等の会計処理

税抜き方式を採用している。

以 上

附属明細書

1. 固定資産の明細

(単位：円)

		期 首 帳簿価額	当 期 増加額	当 期 減少額	当 期 償却額	期 末 帳簿価額	減価償却 累 計 額	期 末 取得原価
有 形 固 定 資 産	建物	—	218,796,689	0	7,002,815	211,793,874	7,002,815	218,796,689
	構築物	—	46,861,294	0	781,021	46,080,273	781,021	46,861,294
	什器備品	—	4,900,334	0	1,408,108	3,492,226	1,408,108	4,900,334
	土地	—	11,626,408	0	0	11,626,408	0	11,626,408
	計	—	282,184,725	0	9,191,944	272,992,781	9,191,944	282,184,725

2. 引当金の明細

引当金の計上を行っていないため、内容の記載を省略する。

以 上

財 産 目 録

2024年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
1．流動資産	現金 普通預金	手許保管	運転資金として	9,399
		普通預金		
		当座預金	運転資金として	0
		三菱UFJ銀行（渋谷支店）	運転資金として	18,213,723
流動資産合計				18,223,122
2．固定資産	建物 構築物 什器備品 土地	長野県小県郡青木村殿戸	研修施設	211,793,874
		長野県小県郡青木村殿戸	外構設備	46,080,273
		外構サイン・プロジェクト等		3,492,226
		長野県小県郡青木村殿戸	研修施設・駐車場	11,626,408
固定資産合計				272,992,781
資産合計				291,215,903
1．流動負債	未払金 未払法人税		管理委託費他	439,568
			東京都・長野県・青木村均等割	141,000
流動負債合計				580,568
2．固定負債				0
固定負債合計				0
負債合計				721,568
正味財産				290,635,335

以 上

2024年5月17日

監査報告書

一般社団法人東急グループ慶太塾

理事長 野本 弘文 殿

一般社団法人東急グループ慶太塾

監事 長 尾 亮 印

私は、2023年4月18日から2024年3月31日までの会計年度における会計および業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、専務理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上